



## おカネの正体は？ その4 — 国債の発行は × or ○ —

横浜市立横浜商業高等学校教諭  
粕谷 和生



登場人物



### 1. はじめに

これまでの探究では、おカネとは財布に入っている紙幣や硬貨のほか、銀行預金（普通預金や当座預金など）もおカネであることを確認しました。また、122号では、日銀当座預金というおカネの存在も突きとめました。

統計上マネーストックの大半は銀行預金で、マネタリーベースの大半が日銀当座預金ですから、おカネについて探究する場合は、先ず銀行預金と日銀当座預金に注目しなければなりません。

今回も信用貨幣観に立っておカネの探究を続けましょう。

社預金という負債を増加させるとA社側に普通預金というおカネが誕生します。



：商品貨幣観では、B銀行が事前に預金者からおカネを集めておき、それをB銀行が又貸しする形でA社は普通預金を手に入れると説明します。



：それに対して信用貨幣観では、又貸しするわけではなく、単に銀行側が負債を増加させるだけで、A社側に普通預金を誕生させることができると説明します。

### 2. 銀行預金というおカネの誕生



：これまでの探究活動で、銀行預金というおカネは、市中銀行が負債を増加させることで誕生することを知りました。次の例1で再度確認してみましょう。

【例1】A社はB銀行から100万円を借りて普通預金とした。

A社とB銀行の仕訳はどうなりますか？



：A社の仕訳は  
(借) 普通預金 100

(貸) 借入金 100



：B銀行の仕訳は  
(借) 貸付金 100

(貸) A社預金 100



：B銀行の仕訳で、貸方のA社預金はB銀行のA社に対する負債です。B銀行がA

### 3. 日銀当座預金というおカネ



：日銀当座預金は、122号でみたとおり日本銀行・政府・市中銀行の間で使われるおカネです。このおカネは日本銀行が市中銀行から国債を買い入れることによって増やすことができます。次の例2でみてみましょう。

【例2】日本銀行は、C銀行が保有する国債100億円を買い入れ、その代金を日銀当座預金で支払った。ただし、この売買に伴う損益はないものとする。



：日本銀行の仕訳は  
(借) 有価証券 100

(貸) 日銀当座預金 100



：この仕訳の借方「有価証券」は、日銀の貸借対照表では、資産の部に国債として表示されますから、国債勘定で仕訳してもよいのですが、高校生には資産である有価

証券勘定で仕訳した方が、わかりやすいと思います。また、貸方の日銀当座預金は、日本銀行のC銀行に対する負債であることに注意しましょう。



: C銀行の仕訳は  
(借) 日銀当座預金 100

(貸) 有価証券 100



: 例2から日本銀行が日銀当座預金という負債を増加させて国債を購入すると、C銀行側に日銀当座預金(資産)というおカネが誕生していることがわかります。かつてのアベノミクスでは、この方法により日銀当座預金を増やして大規模金融緩和を実施しました。例2は信用貨幣観に立たないと説明できませんね。

#### 4. 122号の探究活動からわかること



: ところで122号の終わりで課題を出しましたが、やってきましたか?



: ハイ! 以下のとおりです。

##### 【政府の勘定記録】

日銀当座預金			
例 1	1,000	例 5	1,000
国 債			
		例 1	1,000
インフラ資産			
例 2	1,000		
支払政府小切手			
例 5	1,000	例 2	1,000

##### 【日本銀行の勘定記録】

日銀当座預金			
例 5	1,000	例 4	1,000
受取政府小切手			
例 4	1,000	例 5	1,000

##### 【市中銀行の勘定記録】

日銀当座預金			
例 4	1,000	例 1	1,000
有価証券			
例 1	1,000		
銀行預金			
		例 3	1,000
受取政府小切手			
例 3	1,000	例 4	1,000

##### 【民間企業の勘定記録】

銀行預金			
例 3	1,000		
受取政府小切手			
例 2	1,000	例 3	1,000
売 上			
		例 2	1,000



: この勘定記録を見ると民間企業では1,000億円の売上が発生すると同時に1,000億円の銀行預金が生まれています。



: その他のところでは、資産と負債が同額発生しています。民間企業が一番得している感じです。



: ということは、政府が国債を発行すると民間企業が儲かるということ? すごくよくない?



: なのにマスコミをはじめ、政治家や経済専門家の多くは、国債の発行は絶対にやめた方がいいと言います。

#### 5. 国債の発行はダメ?



: 国債の発行はダメという理由はいくつかありますが、法律で禁止されている点が大きいですね。



: ボクは、そのことについてちょっと知っています。過去の戦争で国債を発行して戦費を調達し、戦争を続けたという歴史があります。その反省から戦後は国債の発行が禁止されたと聞きました。

：国債の発行を禁止すれば、戦費の調達が困難になるから戦争は起きにくいということだね。納得するわ～。

：でも、国債の発行は全面的に禁止されているわけではありません。財政法4条で禁止しているのは、赤字国債の発行で建設国債の発行は認められています。

：赤字国債と建設国債はどう違うのですか？

：赤字国債というのは、国の歳入が歳出よりも少ない場合に、その不足分（赤字分）を補うために発行される国債です。これは原則禁止ですが、国会で特例法を通せば発行できることから、特例国債とも言われます。一方、建設国債は公共事業目的でその発行が認められる国債です。ただし、どちらも国債（政府の借金）であることに変わりはありません。

：この夏の参院選で消費税の減税や現金給付などが争点になったけど、その財源を国債の発行に求める案を出した政党が3つくらいありました。

：でも、それに反対する政党のほうが圧倒的に多かった。

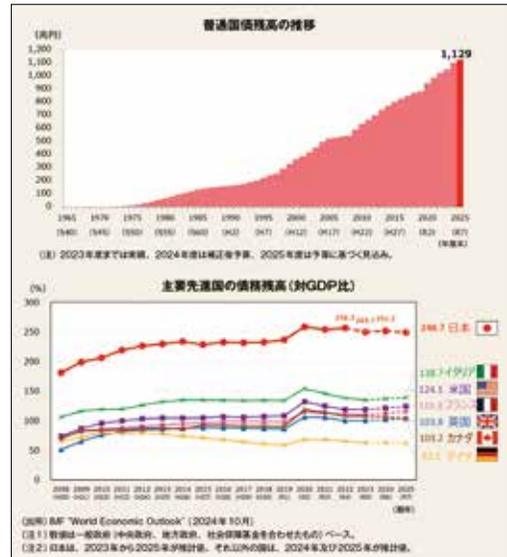
## 6. 財政破綻の兆し

：国債の発行はダメという理由は、ほかにあるのですか？

：図表1は、財務省が公表している国債の発行残高の推移です。これによると2025年末には国債の発行残高は1,129兆円に上ると財務省は見込んでいます。しかも、債務残高はGDPの2倍を超えていて主要先進国の中では、最も高い水準にあると言っています。

：すごい増え方ですね。1970年頃と比べると軽く20倍は超えています。

：こんなに借金が膨らむのは、本当にヤバイと思う。



図表1 日本の債務状況 出典：財務省 <https://www.mof.go.jp/zaisei/financial-situation/financial-situation-01.html>

：政府が国債をどんどん発行して大量のおカネを借り入れると、世の中のおカネがその分なくなるから、金利が上昇するそうです。

：そうなると民間企業や個人がおカネを借りようとしても、世の中に残っているおカネが少なくなるから、高い金利を出さないと借りられない。こうして民間の投資や消費が圧迫されるクラウディング・アウトが起こる。

：『グローバル経済』の教科書にも出ていた。クラウディング・アウトが起こると経済成長は鈍りますね。

：それに物価高騰によって、年金だけでは足りない高齢者は、銀行預金を引き出すことが多くなる。そうすると、これまで国債の購入にまわっていた高齢者の銀行預金が減少し、国債を買ってもらえなくなる。

：国債の金利がここでも上昇する。

：それに円安の影響を受けて日本人の金持ちたちが資産を海外に移すようになる。



：キャピタルフライトじゃない？



：そうかも。キャピタルフライトが起こると国債を買ってくれてた金持ちのおカネが外国に逃げてしまう。



：金利をさらに上げないと国債は買ってもらえない。



：いろいろなことで国債の金利は上昇するんだね。



：国債の金利が上昇し続け、国債の発行残高が巨額になると、誰も国債を買ってくれなくなるから政府はおカネを調達できなくなる。



：それは財政破綻ということ？

## 7. 信用貨幣観に立ってみると



：ちょっと待って！今二人は、商品貨幣観に立って話をしていませんか。商品貨幣観では、おカネをモノとみるから国債の発行により世の中のおカネが大量に吸い上げられれば、残りのおカネの量が少なくなるので、金利は上昇すると考えます。でも信用貨幣観に立てば世の中からおカネがなくなることは起きません。信用貨幣観では、おカネを負債とみますから、負債を増やせばいくらでもおカネを生み出すことができます。



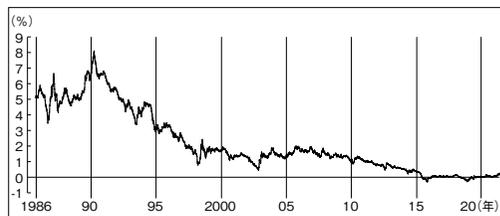
：確かに122号の課題の勘定記録を見ると、政府が1,000億円の国債を発行して負債を増やすと、民間企業に1,000億円の銀行預金が生み出されています。



：国債を発行すると、世の中からおカネがなくなるのではなく、逆に世の中のおカネが増える。商品貨幣観の説明と正反対の現象が起きています。



：図表2を見てください。これだけ多く国債を発行しても国債の金利はずっと低いままで。これも商品貨幣観の説明とはまったく逆の現象です。



図表2 10年国債の金利の推移

出典：財務省



：金利が低くても国債を買ってもらえるのは、日本国債の人気の高いう証拠ですね。



：Googleの「AIによる概要」では、日本国債の金利は世界で2番目に低いと出ています。ちなみに国債の金利が一番低い国はスイスでした。



：でも、ムーディーズなど海外の格付け会社による日本国債のランキングは、先進国の中ではかなり低い方です。

## 8. 不思議なこと



：それは、さっき話に出た「長期債務がGDPの2倍を超えるほど大きい」というのが、格付けが低い理由です。2003年3月に、ある大学の教授たちが、日本経済新聞に「政府債務がGDPの2倍を超えると日本は財政破綻する」と投稿しました。これは当時かなり衝撃のあった記事で、それ以降、財政破綻の恐怖を日本中に植え付けました。ところが2011年に2倍を超えてから今日まで、特に変わったことはありません。金利も依然として低いままで。財政破綻の兆候はまったくありません。



：それにしても不思議だよ。政府には、こんなに借金があるのに、なぜ日本は大丈夫なんだろう？



：それでは次回は、こんなに借金があるのにわが国は、なぜ大丈夫なのか、その理由を探究してみましょう。